

インフォシス、「Shell Inventory Optimizer ソリューション」 の販売でシェルと提携

ロンドン (英国) – 2021 年 11 月 3 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである[インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY) は 3 日、「Shell Inventory Optimizer (シェル・インベントリ・オプティマイザー)」ソリューションの商業パートナーとして Shell Global Solutions International B.V. (シェル) との戦略的提携を発表しました。

シェルとインフォシスはこの提携を通じて、エネルギー業界の顧客向け製品として初めて「Shell Inventory Optimizer」を発売します。このソリューションは人工知能 (A I) を活用したもので、企業は消費履歴に基づいて倉庫の在庫水準を最適化することが可能となります。需要計画を改善することで、管理業務に必要な時間と労力ならびに運用コストを削減できる革新的なソリューションです。

今回の提携により、2000 年から続く両社の長期的な提携関係はさらに深まるでしょう。

シェルのコンピュータサイエンス・デジタル革新部門のバイス・プレジデントである **Dan Jeavons 氏** は、「Shell Inventory Optimizer は弊社の初期のグローバルなデジタル製品のひとつで、在庫規模の最適化により運用の安定化に寄与し、弊社に何百万ドルもの利益をもたらしました。」としたりうで、「インフォシスと共にこのイノベーションを市場にもたらしことができ、嬉しく思います。この提携により、この製品の開発、新機能や革新的な機能の開発が加速できます。」と述べました。

インフォシスの EVP 兼サービス、ユーティリティ、リソース、エネルギー部門長である **Ashiss Kumar Dash** は、「デジタル変革と商用化の過程、特に資産管理分野において、シェルと提携できたことを嬉しく思います。」としたりうで、「Shell Inventory Optimizer は、顧客が新興技術を用いて資産に関するより深いインサイトを得るのを可能にするだけでなく、原材料の無駄をなくすことで運用を効率化し、カーボンニュートラルに向けた企業努力の前進に寄与します。」



Shell Inventory Optimizer ソリューションの発売に胸が高鳴るとともに、シェルとの戦略的提携が成熟度を増してゆくのを楽しみにしています。」と語りました。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

Royal Dutch Shell plc が直接的、非直接的に投資する会社は別の法人です。本文書中の「シェル」は場合によって便宜上、Royal Dutch Shell plc およびその子会社全般の言及に使用されています。

お問い合わせ先:

マーケティング本部 安藤

Mail: mktg_jp@infosys.com